

行慶寺報

平成十五年春号

誕生寺紀行

世話人 前田辰雄



誕生寺山門で

昨年の十一月三日、四日の連休に、御住職夫妻、総代世話人総勢十三名で、法然上人縁りの地を訪ねる研修旅行を致しました。羽田発の便で岡山へ、空港に着くと直ぐにマイクロバスで誕生寺へ向かいました。山門を入ると、正面本堂の大屋根に金の宝珠が輝いているのが見えました。誕生寺七不思議の一つのこと。御本堂で、行慶寺檀信徒御先

祖の御供養をしていただきました。お寺で戴いた昼食の精進料理は大変美味しかったです。二日目は、宿泊したホテルから瀬戸大橋を渡り、第三番の札所法然寺へ、小高い山を背に、斜面を利用して多くの堂塔が建っていました。山頂に法然上人の御廟と高松藩主一族の墓があり、緑に囲まれた壮重なお寺でした。法然寺さんの御好意で行慶寺御住職が導師となって御先祖の御供養を御本堂ですることが出来ました。納骨堂に白い佛像が安置されておりました。分骨された信徒のお骨を混ぜて造つてあると聞き驚きました。帰路の高松空港へ無事着きましたので、空港ロビーで同唱十念、思い出に残るお寺にお詣りし、心が洗われた思いです。



誕生寺縁起

誕生寺は、浄土宗の開祖、法然上人降誕の聖地、建久四年（一一九三）法力房蓮生（熊谷直実）が、師法然上人の命を奉じこの地に来て、上人誕生の旧邸を寺院に改めたものである。

爾来八百五十年の星霜を経て法灯絶えることなく、全浄土教徒の魂の故郷と敬仰されている。寺内また周囲には永い歴史を物語る数多くの史蹟がある。場所は岡山県久米郡久米南町北条。

※誕生寺に、阿弥陀堂の新築再建工事に双子の誕生を縁に二十二万円寄付させていただきました。



法然寺山門にて

雅楽と私

榮立院 前住職 福西 賢兆

雅楽は、今からおおよそ千四百年前に中国大陸から朝鮮半島などを經由してもたらされた音楽と舞踊が、わが国に古来から伝わる音楽や舞踊と融合して日本化したものです、と今は亡き多忠磨さんおのたまから聞きました。

私は五十年程前に増上寺の雅楽会に笙しょうを習に入りました。



当時は毎週金曜日に宮内庁楽長辻寿男先生の稽古があり、先生と向い合つて越天楽てんらくの譜面に旋律をつけた「ウタ」を膝を右手で打つて 凡一乙ぼういちおつと唱うのです。旋律形は口写しで繰り返し唱い暗記するわけです。約一年間は管を持つことが許されません。やがて管を持つて炭火で頭部分かぶを暖め、指が動くようになると他の管と合奏ができるようになります。

ある日、先代昌雄上人から行慶寺の法要に雅楽を入れたいと依頼を受け、現在まで龍笛りゅうてきは田中勝道師、箏びわは八百谷啓人師けいじんにお願ねがいして出仕しております。

福西 賢兆 上人

法要儀式に関する全てを司る「浄土宗法儀司」の第一人者として増上寺、大正大学等で後輩の指導に活躍されています。行慶寺の住職 副住職ともご指導いただいています。(昭和六年東京生まれ)

世話人紹介

前回総代さんに引き続き世話人さん(九名)を紹介します。

新井 健治

目黒区柿の木坂在住。昭和三十年からのお檀家に、その後世話人をしていただいております。総代世話人研修旅行幹事を勤めていただいております。

馬野 光晴

品川区豊町在住。五代目。父兼晴さんには総代を勤めていただきました。趣味は釣りに。前回の寺報では、人の花を撮影していただきました。

瀬戸 義昭

品川区中延在住。(有)瀬戸建具店を経営されています。お寺の整備にご協力いただいております。趣味は釣りにです。

小林 茂雄

品川区東品川在住。趣味は、皇月盆裁 茶道、縁日にてる屋台のミニチュア作りです。

これからの行事予定

- 平成十五年
 - 七月十三(十五日)白(火)
 - 孟蘭盆会法要
 - 九月二十三日(火)
 - 秋季彼岸会中日法要
 - 十月十七日(金)
 - 十夜法要
- 皆様お揃いでご参詣下さい

松本 儼

品川区北品川に十九年間在住。趣味は、歴史散策。ボランティアで歴史散策のガイドもしています。

前田 辰雄

品川区荏原在住。卒業された学校が増上寺に関係があるため、旧友に多くの僧侶がいます。先代御住職が、九回先輩でもあり行慶寺との御縁を感じております。

前田 昭子

目黒不動尊となりに住。戸越小学校六期生。趣味は、寺院廻りです。お施飯鬼、お十夜では、本堂の受付をお手伝いいただいております。

武子 和子

品川区豊町在住。御主人も世話人を勤めていただきました。

吉田 和枝

品川区戸越在住。熊本県天草生まれ、小学校から戸越に移る。趣味は、山登りに。御主人も世話人を勤めていただきました。

